

信州大学医学部附属病院 腎臓内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2026年1月23日

「ANCA関連血管炎に対する患者特性と免疫抑制治療及び予後との関連についての検討」
に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6715
研究課題名	ANCA関連血管炎に対する患者特性と免疫抑制治療及び予後との関連についての検討
所属(診療科等)	腎臓内科
研究責任者(職名)	中山祐樹(医員)
研究実施期間	研究機関の長による許可日～2030年12月31日
研究の意義、目的	ANCA関連血管炎に対してリツキシマブやアバコパンといった新規薬剤の登場が予後や合併症に与えた影響を明らかにすることを目的とした研究で、今後のANCA関連血管炎のより個別かつ適切な治療戦略の確立に貢献すると考えられます。
対象となる方	2005年1月1日から2024年12月31日の期間に共同研究機関でANCA関連血管炎について医療を受けられた方
利用する診療記録	被験者背景、性別、年齢、入院日、退院日、身長、体重、合併症、既往歴、臨床検査値、患者予後(死亡、腎死、感染症発症、ステロイド糖尿病発症、早期のステロイド減量)、腎病理所見
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	記録媒体により提供を受けます
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、各種免疫抑制剤や治療薬の使用と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名 (研究責任者氏名)	信州大学医学部附属病院(責任者:中山祐樹)、長野赤十字病院(責任者:中村睦子)、諏訪赤十字病院(責任者:岩渕良平)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学医学部附属病院 研究責任者:中山祐樹
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 中山祐樹(腎臓内科医員) 電話:0263-37-3588

【既存の診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあります、引き続き使わせていただくことがあります。